

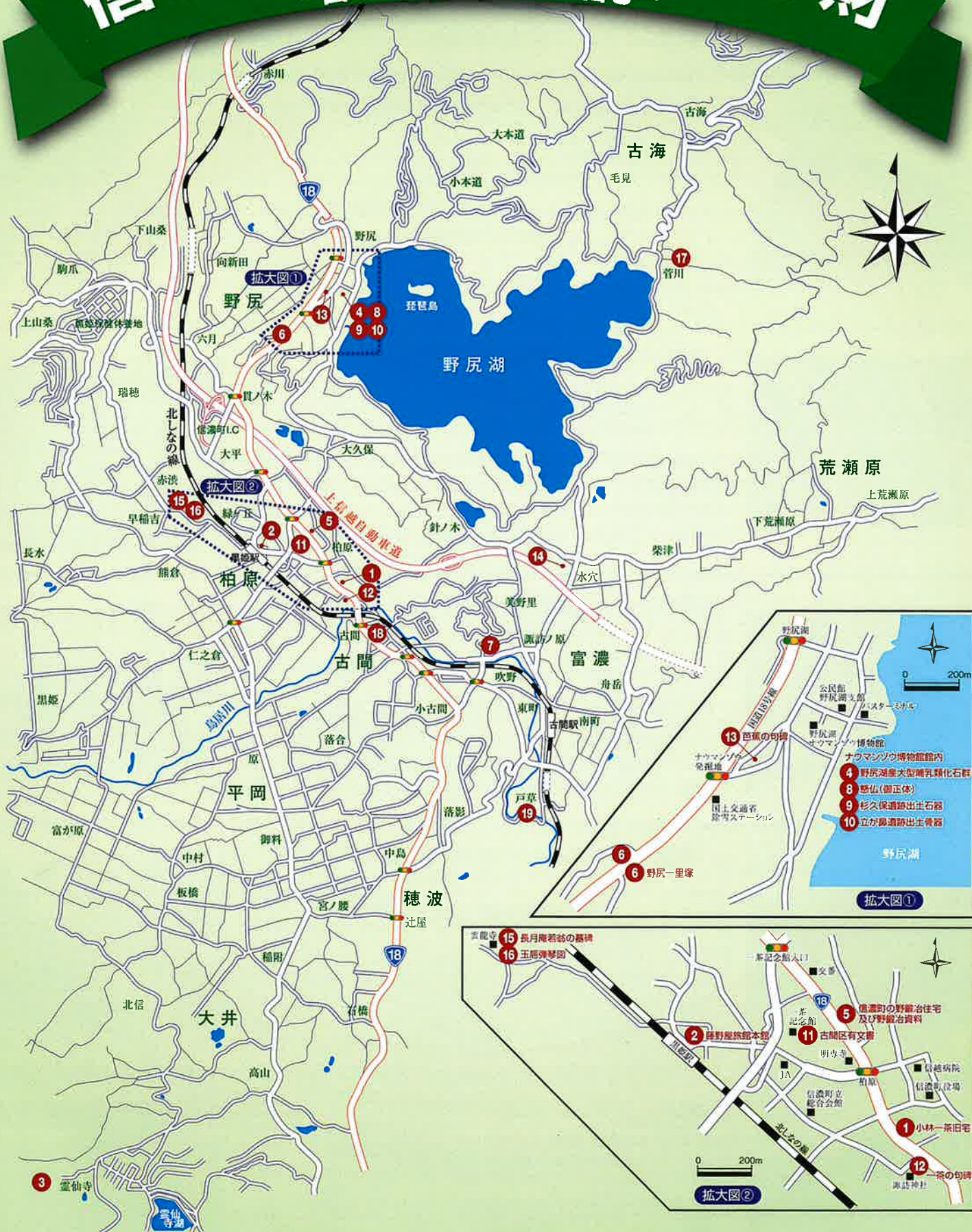


Naumanns
Elephant

Issa
Kobayashi

信濃町の指定文化財

—国の登録有形文化財を含む—



1000 500 0 1000 2000m

製作:信濃町教育委員会生涯学習係

お問い合わせ(文化財担当)

電話&ファックス026-258-2113(公民館野尻湖支館内)

2019年6月製作



● 小林一茶旧宅 こばやし いっさきゅうたく

指定区分: 国一指定一史跡
所在地: 信濃町柏原48、49
指定年月日: 昭和32年(1957)5月8日

江戸時代の俳人小林一茶(1763-1827)は、15歳で江戸に奉公に出ましたが、50歳の文化9年(1812)に故郷の柏原に帰りました。翌年、父の遺産を半分受けとり、弟と住居を二分して暮らしました。文政10年(1827)閏6月におこった大火で住居を焼失してしまい、焼け残った土蔵を仮住まいとしましたが、同年11月19日に没しました。史跡内にはこの土蔵と弟弥兵衛が大火ののちに建てたと伝わる民家が残されています。



● 藤野屋旅館本館 ふじのやりよかんほんかん

指定区分: 国一登録一有形文化財
所在地: 信濃町柏原2711-22
指定年月日: 平成22年(2010)4月28日

黒姫駅前の通りに面した木造2階建て切妻造鉄板葺の旅館建物で、背面側の屋根が下まで葺き降りしています。2階は中央に廊下があり、南北に各四部屋を並べています。正面には庇をかけ、切妻屋根を中央に付けて玄関としており、明治末の旅館のたたずまいをよく伝えています。藤野屋の小林家は明治21年に信越本線が開通するとすぐに柏原駅(現黒姫駅)前に料理屋を始め、明治43年(1910)にこの建物を建設しました。



● 霊仙寺跡 りょうぜんじあと

指定区分: 県一指定一史跡
所在地: 信濃町大井字日影、家添
指定年月日: 昭和54年(1979)3月22日

山岳信仰の修験所の遺跡で、鎌倉時代にはすでに栄えていた記録が残されています。五社権現を祀り、前宮と奥ノ院、その別当寺(神宮寺)としての霊仙寺がありました。応永11年(1404)の年号が刻まれた石水鉢があり、室町時代にも栄えていたことがうかがえます。戦国時代に焼かれましたが、上杉氏によって再興されたと伝えられ、講堂跡、前宮跡の礎石、鳥居の礎石、石階段などが残されています。



● 野尻湖産大型哺乳類化石群 のじりこさんおおがたほにゅうるいかせきぐん

指定区分: 県一指定一天然記念物
所在地: 野尻湖ナウマンゾウ博物館
指定年月日: 平成26年(2014)9月25日

野尻湖で大型哺乳類化石が発見されたのは1948年ナウマンゾウの臼歯化石が湖畔で採取され、この化石の発見がきっかけとなって、今日まで続く野尻湖発掘が始まりました。

野尻湖産大型哺乳類化石群は50年に及ぶ調査と継続的な研究の蓄積によって裏付けられた、最終氷期における大型哺乳類の様相を示す重要な資料であると同時に、考古学・古生物学研究を象徴する学術上でも貴重な資料といえます。(ナウマンゾウ・ヤバオオツノジカ・ヘラジカ:計88点)



● 信濃町の野鍛冶住宅(旧中村家)及び野鍛冶資料(1棟 733点)

しなのまちののかじじゅうたく(きゅうなかむらけ)およびのかじしりょう

指定区分: 県一指定一有形民俗文化財
所在地: 信濃町大字柏原124ほか
指定年月日: 平成28年(2016)9月20日

信濃町は戦国時代にその技術が伝えられたという信州打刃物の里で、茅葺の住宅の中に鍛冶場があり、全国的にみても昔の鍛冶屋の様子を今に伝える貴重な住宅といえます。

また、この鍛冶場で使われていた鍛冶資料733点は、近代設備導入以前の野鍛冶の様子を知る上でたいへん貴重であり大切に保管されてます。



● 野尻一里塚 のじりいちりづか

指定区分: 町一指定一史跡
所在地: 信濃町野尻756(東側)、野尻524-1(西側)
指定年月日: 昭和47年(1972)12月10日(東側)、昭和57年(1982)7月12日(西側)

国道18号線(旧北国街道)に一对で残る一里塚。一里塚は江戸時代のはじめ、江戸の日本橋を起点として一里(約3.9km)ごとに、旅の目印として主要な街道の両側につくられました。この一里塚は北国街道の宿駅が確定した慶長16年(1611)ころには築かれていたものと思われます。一般に、塚の中央には榎や松、桜などの木が植えられていたといわれます。この塚には現在、古木ではありませんが、桜が植えられています。



民俗資料室 みんぞくしりょうしつ

指定区分: 町一指定一有形民俗文化財
所在地: 信濃町地域交流施設
指定年月日: 昭和56年(1981)3月31日

古間小学校開校80周年の記念事業で、昭和45年(1970)に住民から集められた民俗資料が収められた資料室です。信濃町地域交流施設(旧古間小学校校舎)の3階の一室にあり、農具や民具のほか、雪国の暮らしや打刃物の資料などが保管されています。



懸仏(御正体) かけほとけ(みしょうたい)

指定区分: 町一指定一有形文化財
所在地: 野尻湖ナウマンゾウ博物館
指定年月日: 平成6年(1994)6月9日

懸仏は神仏習合の考え方から生まれ、銅などの円板に浮き彫りの仏像などをつけ、柱や壁にかけて礼拝するためのものです。昭和43年(1968)に旧野尻湖中学校グラウンド入口付近で中学生によって発見されました。銅製の十一面千手観音像で、鎌倉末～南北朝時代のものとされ、高さ13.6cm、幅7.9cm、厚さ3.5cm、重さ387.2g。戦国時代の野尻城や五輪塔の出土地が近くにあり、その武士団とのかかわりが考えられます。



杉久保遺跡出土石器 すぎくぼいせきしゅつどせっき

指定区分: 町一指定一有形文化財
所在地: 野尻湖ナウマンゾウ博物館
指定年月日: 平成6年(1994)6月9日

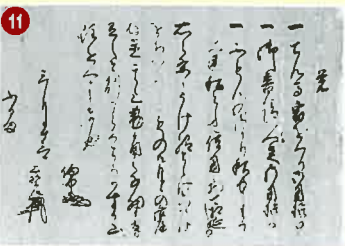
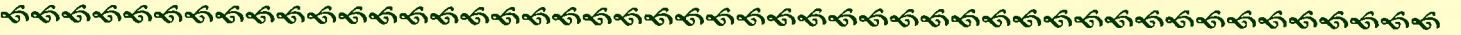
野尻湖の北岸にある杉久保遺跡から発見されたおよそ2万年前の旧石器時代の石器148点が指定されています。野尻上町の池田寅之助さん(故人)が集めていた石器の中から、細身で柳の葉のような形をしたナイフ形石器に対して、昭和28年(1953)に「杉久保形」の名が付けられました。この石器発見のエピソードは岩波新書「日本旧石器時代」(芹沢長介著)に詳しく紹介されています。



立が鼻遺跡出土骨器 たてがはなせきしゅつどこっき

指定区分: 町一指定一有形文化財
所在地: 野尻湖ナウマンゾウ博物館
指定年月日: 平成6年(1994)6月9日

野尻湖底の立が鼻遺跡で、およそ4万年前の地層から出土したナウマンゾウの骨でできた道具(骨器)です。クリーヴァー(なた)、ナイフ、スクレイパー、尖頭器(槍の穂先)など6点が指定されています。火山灰土の堆積のために骨などの化石が残りにくい国内では骨器の出土例が極めて少ないため、たいへん貴重な資料です。旧石器時代の人々が石器以外の道具を使っていたことを示す数少ない証拠といえるでしょう。



古間区有文書 ふるまくゆうもんじょ

指定区分: 町一指定一有形文化財
所在地: 一茶記念館
指定年月日: 平成13年(2001)7月19日

旧大古間村の文書で、古間区で大切に保管されてきた文書の内、特に歴史的な意味が大きい10点が指定されました。上杉景勝の家臣が伝馬送りの仕事を免除するというもの(古間村宛上杉景勝家臣連署状)や、松平忠輝の家臣大久保長安らの名前で出された宿場の整備に関する文書(古間村宛松平忠輝伝馬屋敷下付証文)など、戦国時代から江戸時代はじめの、北国街道の宿場成立のころの様子を伝える史料です。



一茶の句碑 いっさのくひ

指定区分: 町一指定一有形文化財
所在地: 信濃町柏原28 諏訪神社
指定年月日: 平成14年(2002)12月9日

碑文「松陰に 寝て喰ふ 六十奈州かな」大塚庚作(中野代官所の役人)筆。
小林一茶の三回忌にあたる文政12年(1829)に門人たちによって建立されたもので、一茶の句碑の中では最古のものです。柏原宿南方入口付近の橋の近くに建てられましたが、徳川の藩政をたたえた句であったため、明治11年(1878)の明治天皇巡幸の際に諏訪神社境内に移されたと伝えられています。



13 芭蕉の句碑 ばしょうのくひ

指定区分: 町一指定一有形文化財 所在地: 信濃町野尻703
指定年月日: 平成14年(2002)12月9日

碑文「うめが香に のつと日の出る 山路かな」 俳人松尾芭蕉の没後130年にあたる文政6年(1823)に、野尻上町の仏心庵前に建立されたもので、信濃町でもっとも古い句碑です。裏面には一茶の門人の湖元舎魯堂(池田伝九郎)「瘦垣も見所有もの帰りばな」、六如亭蘭之(池田十郎平)「むだ歩行せよ逆扇黄けり」の句が刻まれている。俳句が盛んだった野尻宿の様子がうかがえます。



14 黒田家住宅 くらだけじゅうたく

指定区分: 町一指定一有形文化財 所在地: 信濃町富濃水穴2545
指定年月日: 平成17年(2005)7月25日

建築年ははっきりしませんが、江戸時代末から明治初年に建てられたと考えられる民家です。柴津村下組(水穴地区)の庄屋を務めていたこともあり、この地域の有力な農家の大形家屋の面影を色濃く残している建物です。間口13間(約23m)で、18畳の広さをもつ土間や18畳の茶の間、8畳の上座敷、10畳の下座敷などを備えています。



15 長月庵若翁の墓碑 ちょうげつあんじゃくおうのぼひ

指定区分: 町一指定一有形文化財 所在地: 信濃町柏原1320 雲龍寺
指定年月日: 平成19年(2007)12月25日

長月庵若翁(1734-1813)は松尾芭蕉の顕彰に尽くした江戸時代中期の俳人で、江戸では小林一茶との交流もありました。若翁は一茶の少年時代に柏原を訪れていますが、その頃の一茶とのかわりについては良くわかっていません。その後、若翁は全国を行脚し、再び訪れた柏原で文化10年(1813)に柏原宿本陣中村家で没しました。墓碑は一茶顕彰が盛んになる中、明治29年(1896)に本陣中村家によって建立されました。



16 玉卮弹琴図 ぎよくしだんきんず

指定区分: 町一指定一有形文化財 所在地: 信濃町柏原1320 雲龍寺
指定年月日: 平成19年(2007)12月25日

紙本着色、六曲屏風、縦169.2cm、横352.2cm。葛飾為斎画。一弦琴を弾く中国の伝説上の女性・玉卮と龍が描かれています。葛飾北斎の晩年の弟子で、師の作風を忠実に学んだ江戸時代末から明治時代初期の浮世絵師・為斎(1821-1880)の優れた大作であり、北斎門人の画業や北信濃とのかかわりを考える上で貴重な作品といえます。



17 菅川神社の大杉群 すがかわじんじやのおおすぎぐん

指定区分: 町一指定一天然記念物 所在地: 信濃町古海3999-1 菅川神社
指定年月日: 平成20年(2008)10月20日

菅川神社境内にある杉の巨木のうち、3本が指定されました。最大の杉は拝殿前の大杉で、目通り(地面から1.3m上の幹周り)が8.2m、樹高が48.5mあります。次に太い山神社前の大杉は目通り5.8m、樹高47.7m、もう1本は本殿裏の大杉で目通り4.7m、樹高47.3mです。昭和59年(1984)に伐採した大杉の年輪を数えたところ980年であったことから、それよりも太い拝殿前の大杉は樹齢1000年をこえているかもしれません。



18 行善寺のタキシジュウム ぎょうぜんじのたきそじゅうむ

指定区分: 町一指定一天然記念物 所在地: 信濃町大字古間541 行善寺
指定年月日: 平成28年(2016)3月25日

タキシジュウムは明治期に希少な外国産樹種として専門家によって導入されたものであり、現世では世界で数種類のみが限られた地域でしか生育していない「生きた化石」として知られている分類群の一つである。また、湿地や沼地に生育するため、気根(呼吸根)を発達させる珍しい形態的特徴もみられます。



19 戸草・芋川用水のホタル とくさ・いもがわようすいのほたる

指定区分: 町一指定一天然記念物 所在地: 信濃町大字富濃字戸草芋川用水
指定年月日: 平成30年(2018)10月29日

400年以上の長い歴史を持つ戸草の芋川用水では、毎年6月下旬から7月に多くのゲンジボタルとヘイケボタルを見ることができます。ホタルの生息できる場所は素晴らしい自然環境が残されていることの証明であり、この生育条件と自然環境を保護することは、環境教育の重要性が増す中で極めて重要なことです。